

## セーフティマネジメント論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》○福井純子 (看護福祉学部 sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp) 竹生礼子 (看護福祉学部)  
塚本容子 山田拓 (看護福祉学部)

### 【概要】

セーフティマネジメントは、安全で良質な医療・看護を提供するために必要不可欠である。本講義では、医療安全、災害看護、感染管理の側面から、医療提供場面におけるセーフティマネジメントについて学ぶ。

### 【学修目標】

1. 安全で良質な医療・看護の提供のために看護職が果たすべき役割について、医療安全、災害看護、感染管理のそれぞれの側面から理解を深め、医療提供場面で実践するために必要な知識と方法について説明することができる。
2. (医療安全管理) 医療安全の基本的な概念について、看護職の業務の特徴を踏まえて理解し、組織において安全文化を醸成するための取り組みについて説明することができる。
3. (災害) 国・地方自治体の危機管理体制・制度、災害発生時の医療提供の組織的取り組みを理解し、住民・行政・多機関・多職種がともに防災・減災に向けた地域活動に取り組む必要性、および災害における看護の役割について説明することができる。
4. (感染管理) 医療関連感染を予防・管理するために必要な知識・技術を理解し、看護師として臨床現場で遭遇する場面を想定した実践的な感染予防対策について説明することができる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

福井純子(看護師) 竹生礼子(看護師) 塚本容子(看護師) 山田拓(看護師)

### 【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、事例を用いながら、臨床現場に必要なセーフティマネジメントに関連する内容と看護職が果たす役割について学生に教授する。